

大府市音楽祭 大府市制 55 周年記念スペシャルコンサート ～大府が生んだ 3 人のヴィルトゥオーゾ達～

大府市は、市制 55 周年記念事業の一環として「大府市音楽祭 スペシャルコンサート ～大府が生んだ 3 人のヴィルトゥオーゾ達～」を開催します。

いずれも市出身で世界的バイオリニストの竹澤恭子さん、国内外で活躍するチェリストの佐藤桂菜さん、第 19 回ショパン国際ピアノコンクールでファイナリストとなったピアニストの進藤実優さんの 3 人が、セントラル愛知交響楽団と共に素敵な音色を奏でます。

また、当日は、佐藤さん・進藤さんの大府市広報大使任命式を行います。

※ヴィルトゥオーゾ 音楽・芸術分野で卓越した技術や優れた才能を持つ人を指すイタリア語。

■大府市音楽祭 大府市制 55 周年記念スペシャルコンサート

「大府が生んだ 3 人のヴィルトゥオーゾ達」の概要

日時／2026 年 2 月 22 日（日）午後 2 時～午後 4 時

場所／愛三文化会館もちのきホール

（大府市明成町 1-330）

対象／一般、高校生以下 ※未就学児入場不可

出演／竹澤恭子（タケザワ キョウコ）

佐藤桂菜（サトウ ケイナ）

進藤実優（シンドウ ミユ）

セントラル愛知交響楽団

指揮：角田鋼亮（ツノダ コウスケ）

定員／817 人

料金／一般 3,800 円、高校生以下 2,000 円（全席指定）

チケット／11 月 22 日（土）午前 9 時から発売

取扱場所／愛三文化会館、大府市役所文化交流課、

おおぶ文化交流の杜 allobu、チケットぴあ

無料招待（HASSIN 提供）／大府市在住の方に限り一般席を 1 枚購入につき、

高校生以下 2 人まで招待

※11 月 15 日（土）午前 9 時から愛三文化会館で販売（先着順）

その他／託児サービス有（要申込）

■参考資料 大府市制 55 周年記念スペシャルコンサート チラシ

【問い合わせ先】大府市文化交流課 担当：深谷剛央（フカヤ タカヒサ）

電話：0562-45-6266 FAX：0562-47-7320 メール：bunka@city.obu.lg.jp



大府市音楽祭

Obu CRESCEndo!
55th

大府市制55周年記念

スペシャルコンサート

～大府が生んだ3人のヴィルトゥオーゾ達～

〈第1部〉

●チャイコフスキー

歌劇「エフゲニー・オネーギン」Op.24より

“第3幕 ポロネーズ”

●モーツァルト

ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488

“第3楽章”

●ポッパー

ハンガリー狂詩曲 Op.68

●チャイコフスキー

懐かしい土地の思い出 Op.42より

“第3曲 メロディ”

●チャイコフスキー

ワルツ・スケルツォ Op.34

〈第2部〉

●ベートーヴェン

ヴァイオリン、チェロとピアノのための

三重協奏曲 ハ長調 Op.56

ヴァイオリン
竹澤 恭子
©松永学

チェロ
佐藤 桂菜

ピアノ
進藤 実優
©井村重人



指揮
角田 鋼亮
©Makoto Kamiya

セントラル愛知交響楽団

2026

2/22 日

開演14:00 開場13:30

愛三文化会館 もちのきホール

■料金(全席指定) ※未就学児入場不可

一般 **3,800円** 高校生以下 **2,000円**

※チケットの払い戻しはできません。

チケット発売日11月22日(土)

チケット
取扱窓口

・愛三文化会館	9:00～
・大府市役所3F文化交流課 ※平日開庁時間内	9:00～
・おおぶ文化交流の杜	9:00～
・チケットぴあ(Pコード:308-104)	10:00～
http://pia.com ※車椅子席ご希望の方は会館窓口まで。	

チケット発売日

11月15日(土)

9:00～

愛三文化会館

(HASSIN提供)無料招待エリア

大府市在住の方に限り、一般席を1枚ご購入につき
高校生以下2名まで無料でご招待いたします。

※一般席、無料招待席共にエリア内からお選びいただけます。

※購入の際に、無料招待席の希望枚数(上限2枚まで)をお知らせください。

※購入の際に、住所のわかるものをご提示ください。

※無料招待席のみのご提供はできません。

※愛三文化会館のみでの販売となります。 ※なくなり次第終了となります。



託児
サービス

ご希望の方は2月19日(木)までにNPO法人ネットワーク大府(0562-85-7028)
までお申し込みください。お子様お一人につき1,000円

※駐車場には限りがありますので乗り合わせまたは公共交通機関でお越しください。

主催:大府市、愛三文化会館

問い合わせ先:愛三文化会館

0562-48-6151(愛知県大府市明成町1-330)

大府市で生まれ育ち、世界を舞台に活躍する3人のヴィルトゥオーゾ達[※]。
大府市制55周年を記念し、オーケストラと共に協奏曲のコンサートを開催します。

※ヴィルトゥオーゾ…音楽・芸術分野で卓越した技術や優れた才能を持つ人を指すイタリア語



竹澤 恭子(ヴァイオリン)
愛知県大府市出身

3歳からヴァイオリンを始め、桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。1986年第2回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。以来、「世界のKYOKO TAKEZAWA」として国際的スターダムを昇り続けている。

これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、ロンドン響、モスクワ放響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バンベルク響、バイエルン放響、リヨン管、フィンランド放響、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロイヤル・コンサート・ヘボウ管など、世界の主要オーケストラと共演。指揮者では、クルト・マズア、ズービン・メータ、レナード・スラットキン、シャルル・デュトワ、リカルド・シャイー、ケント・ナガノ、クリストフ・エッシェンバウ、ヘルベルト・ブロムシュテット、小澤征爾らと共演している。

2011年フィルハーモニア管弦楽団のスペインツアー、2012年ヘンゲルブロック指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団の日本公演で共演。2014年には東京フィルハーモニー交響楽団100周年記念ワールドツアーのソリストを務め、高い評価を得た。2018年シーズンはデビュー30周年を迎え、各地でリサイタルツアーを成功させた。

また、才能教育研究会で学んだ経験を生かし、教育活動とともに、メニューイン、ロン＝ティボーなど国際コンクールの審査員も数多く務める。アスペン、ルツェルン、戸室内管弦楽団、セイジオザワ松本フェスティバル、別府アルゲリッチ音楽祭への参加など、世界的な音楽祭にも出演を重ね、協奏曲、室内楽、リサイタルと幅広く活躍。CDは、RCAレッド・シールより多数リリース。

第3回出光賞、愛知県芸術文化選奨文化賞、第78回中日文化賞を受賞。

使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。

現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。



2000年生まれ。ニューヨークのジュリアード音楽院卒業後、ロサンゼルス・コルバーン音楽院に進学し全額無償の奨学生として卒業。現在、ザルツブルクのモーツァルテウムにてジョバンニ ニョッキ氏に師事。

中学卒業後単身渡米、ボストンのウォールナットヒルスクールフォージアーツに入学。同時期にニューイングランド音楽院・プレバトリススクールにダブルスクールで学ぶ。

第74回全日本学生音楽コンクール全国大会大学の部第1位。あわせて毎日新聞社奨励賞、NHK会長賞受賞。2021年キングスピーク国際音楽コンクール優勝。第6回京都国際音楽コンクールチェロの部第1位。第42回霧島国際音楽祭受賞。2024年いわみミュージックアカデミー、IMA賞受賞。

他多数受賞。2019年NHKラジオ「リサイタル・ノヴァ」に出演。これまでに大阪交響楽団、読売交響楽団、名古屋フィルハーモニー、セントラル愛知交響楽団、伊豆フィルハーモニー管弦楽団等とコンチェルトを共演。これまでに A Far Cry Chamber Orchestra (ボストン)、小澤征爾、竹澤恭子、金子三勇士、清塚信也の各著名人と共演の他、多数のソロリサイタルを行う。カザルス音楽祭、International Cello Institute、カーティス音楽院サマーフェスティバル、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、霧島国際音楽祭、ロームミュージックセミナーなどに参加。

フランツ ヘルマーソン、ウェン＝シン ヤン、堤剛、宮田大など各氏のマスタークラスを受ける。

2021/2022年度ヤマハ音楽支援制度奨学生。2023年度チャネルビグマリオンデイズ参加アーティスト。CHANEL NEXUS HALLにて全4回のリサイタルと、大山平一郎氏と室内楽シリーズに出演。



佐藤 桂菜(チェロ)
愛知県大府市出身



進藤 実優(ピアノ)
愛知県大府市出身

2002年生まれ。愛知県大府市出身。第18回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)、第76回ジュネーブ国際音楽コンクール(スイス)セミファイナリスト。第7回ヴィーゴ市国際ピアノコンクール(スペイン)第1位及び聴衆賞受賞。キッシンガー国際ピアノコンクール(ドイツ)第3位及び聴衆賞受賞。第45回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル銀賞及び聴衆賞受賞。北京青少年ショパン国際ピアノコンクール(中国)シニア部門第3位。第21回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第1位及び中村敏子賞受賞。

NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、「ベストオブクラシック」、NHK BSP「クラシック倶楽部」等多数のメディアに出演。モスクワでは校内オーディションで選抜されCD録音もする。第38回霧島国際音楽祭にて、ダンタイソン氏に推薦され霧島国際音楽祭受賞。

これまでに第75回マントン音楽祭(フランス)、第41回霧島国際音楽祭をはじめ、カーネギーホール(ニューヨーク)、チャイコフスキーコンサートホール(モスクワ)、モスクワ音楽院大ホール(モスクワ)、オーストリア、イタリア、アメリカ、ロシア、中国、ドイツ、スペイン、フランス、スイスにて演奏。

新日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、北京中央音楽学院交響楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。

江副記念リクルート財団第53回奨学生。

2018年よりモスクワ音楽院付属中央音楽学校(ロシア)にて学び、2021年卒業。2022年4月よりハノーファー音楽演劇メディア大学(ドイツ)にて在籍し、アリエ・ヴァルディ氏に師事。



角田 鋼亮(指揮)

愛知県名古屋市出身

東海高校卒業後、東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌、山響、仙台フィル、群響、N響、読響、都響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、中部フィル、愛知室内オーケ、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、大響、兵庫PAC、広響、九響と共演している。

2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2016年「第11回名古屋ベネクラ音楽賞」、2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。

2024年4月より、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。

<https://kosuketsunoda.com/>

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年。2024年4月から音楽監督に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾素子、首席客演指揮者に斎藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。

定期演奏会、第九公演等の自主公演の他、「超！有名曲」「Wコンチェルト」等のシリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。

2015年平田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベネクラ賞」受賞。

<https://www.caso.jp>

愛三文化会館

〒474-0056 愛知県大府市明成町1丁目330番地

TEL:0562-48-6151

◆JR共和駅下車 西口から南西方向約800m 徒歩10分

◆国道23号線(名四国道)共和出口南方面、大府共和線共和町五丁目交差点南方面

◆国道155号線大府高校北交差点を北方面約2.7km先左側

駐車場には限りがありますので乗り合わせまたは公共交通機関でお越しください。

愛三文化会館
You Tube
チャンネル

